

# みどりの大使が行く!



2024  
ミス日本  
みどりの大使  
安藤 きらり



## 新たな緑の少年団の結成に立ち会いました

鬼北町立泉小学校緑の少年団結団式に参加するため、愛媛県の鬼北町に行ってきました!

愛媛県では、昭和48年に緑の少年団が結成して以来、113団体、合わせて10,414名(令和6年1月時点)の児童・生徒が活動しており、団員数は全国で7番目(令和6年1月時点)と多く、毎年のように全国大会などで活動が表彰されているそうです。全校児童が38名の泉小学校は、児童さんが学年の垣根を越えて家族のように仲良くしています。結団式では、子どもたち全員が、のびのびと活動できることを心から願って激励の言葉を贈りました。

## 子どもたちとの交流

泉小学校では「きこりものがたり」というボードゲームを通じて、きこり体験してもらいました。このボードゲームでは山に苗木を植えて、数十年後に収穫します。低学年には、少し難しいかな?と思いましたが、高学年の児童たちの丁寧なフォローのおかげで、円滑に進めることができました。自然災害の発生を決めるカードを引く際は、大盛り上がりでした。

safeと書かれたカードを引き、「災害は起こりませんでした!」と言つと、大きな歓声が上がリ、自然災害が起こらないことがいかに嬉しいことか、子どもたちに



もわかってもらえたと思います。

また、同じ鬼北町内の広見中学校にも訪問し、ボードゲームを通じて生徒たちと交流しました。広見中学校では「セーザイゲーム」を通じて、製材所の社長さんになつてもらいました。このボードゲームでは、競り、で木を手に入れて、木取りをし、銀行でお金と引き換えます。節がある価値が下がる!価値が高い一番玉はこうやって見分ける!など、いくつポイントを話していくと、「難しい!」という声も聞こえましたが、ゲームが始まると一変!終始大盛り上がりでした。競りでは、他のチームに負けないぞ!という気持ちを全面的に出し、ギリギリまで粘っている様子が見受けられました。

終盤では、見守っている大人たちも、「これは良い木だと思つよ」「一番玉じゃないか!」など、一緒にゲームに参加していて、心が温まりました。そして、木取りの場面では、生徒さんが学んでいる様子が見受けられました。最初は金額が高い板をひたすら並べていたチームが、「意外と細々した板をぎつり並べる方が儲かるって気



付きました!」と言っていて、ゲームから経営のコツを掴んでいて嬉しかったです。「欲張りすぎたらいけない」「挑戦してみるのも良い」「良い木を見極める目を持つことが大切」色々な意見を聞くことができました。

ボードゲームを通じて生徒さん達が「森林を大切にしよう」「林業って面白い」などと思ってくれると嬉しいです。

